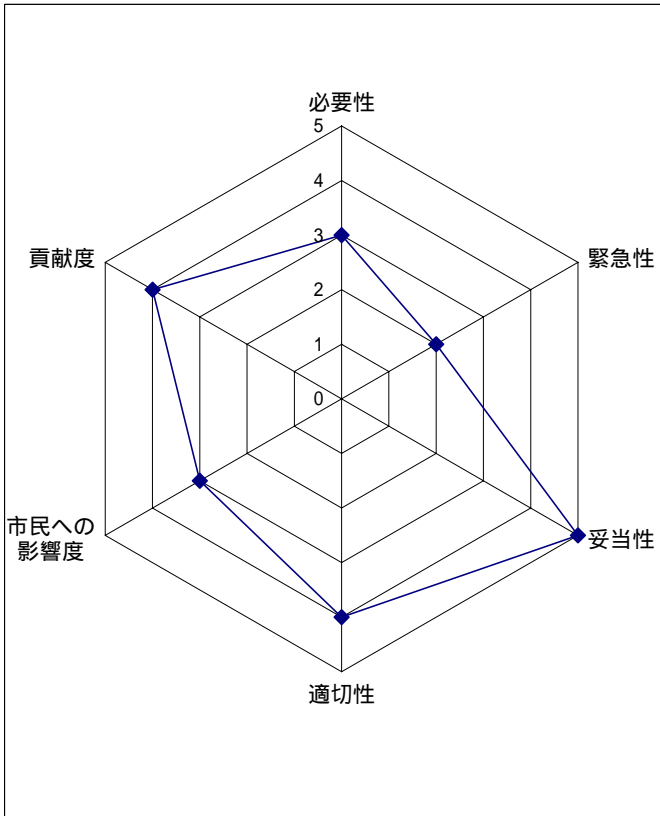


事務事業名	辻札設置事業	担当部局	産業経済部
基本目標	第4章 豊かな暮らしを育む活力ある産業づくり(産業)	担当課名	商工観光課
施策体系	3にぎわいのある商業の振興(商業)	担当係名	商工係
施策	中心市街地の活性化		

1. 事業内容

事業本来の目的と具体的内容	旧城下町である結城市は、来客者にとって迷路のように分かり難く、目的地へ行くにも中々分かりづらい、辻等に辻札を設置することにより、迷わず目的地へ行けるようにする。		
事業の期間(開始/終了)	平成19年 月 / 平成22年 月		
根拠法令、条例、規則など	まちづくり交付金		
事業が対象としている人(モノ)	辻札の設置数		
主な活動予定内容	街なか再生市民会議		
	辻札の設計施工		

2. 事業の評価



項目	説明
必要性	3 市民ニーズは確認していないが、一般的にはニーズが高いと思われる 市民に対する必要性はそれほど高くはないが、城下町という地域性を考慮した場合、観光客に対しては必要であると考ええる。
緊急性	2 特に緊急性が問われるという事業ではない 市民生活における緊急性はそれほど高くはないが、観光資源の有効活用、中心市街地の活性化という課題を考慮した場合、早期着手・完了が望ましいと考える。
妥当性	5 役割分担を考えたが、行政以外には実施できない事業であると判断した 中心市街地の活性化という前提においては妥当であると考え。また、観光客への誘導にはなくてはならないものと考え。
適切性	4 代替案を検討し、この事業(方法)が一般的であり、問題はないと判断した 設置箇所については既存設置箇所とのバランス、及び街なか再生市民会議において選定していく予定であり、適正箇所への設置を予定している。
市民への影響度	3 目的とした対象者に対しては、概ね広く便益が提供される事業である 中心市街地の活性化という前提においては、観光集客、商店街への好影響が望まれる。
貢献度	4 「施策の効果が高まる」、もしくは「施策の効率化を図れる」のいずれかを期待できる 中心市街地の活性化という前提において、観光集客による本市のPR効果、各商店街への売り上げ等が期待できる。

3. 事業の方向性

所管課長評価	
現在設置されている所もあるが、まだまだ観光客の方から解りづらいという声があり、早急に設置を行なうことにより観光誘客が図れるものと考え。	
政策推進面からの評価(企画)	
結城市の特徴として、迷路的な街割が逆に個性化され、観光的には面白いと感じている人が多いと思う。しかし、外来者にとっては不便であることも事実であり、辻札を巧く工夫して、楽しく散策できるように活用されたい。	
財政面からの評価(財政)	
毎年2箇所づつ5年間の計画であるが、事業効果が薄いと思われるため、予算が許す範囲で2年くらいで計画してはどうか。	
決定権者判断	
予定通り要求	観光客が散策するのに解りやすくするため、効果の高い事業であり、実施したい。